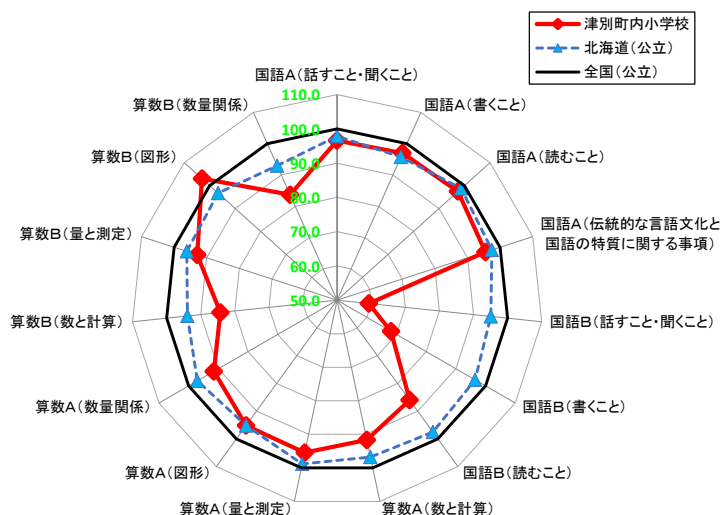


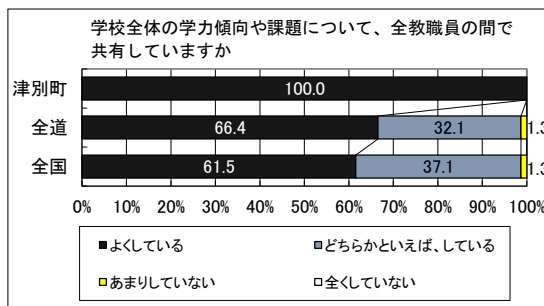
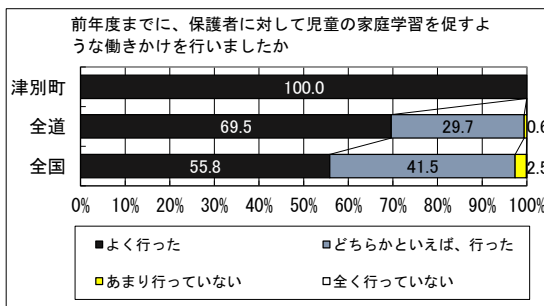
津別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:34名)

【教科全体の状況】

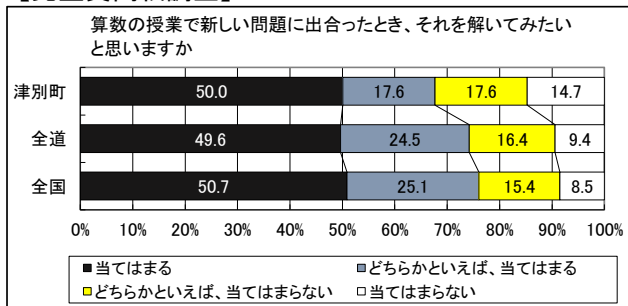
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



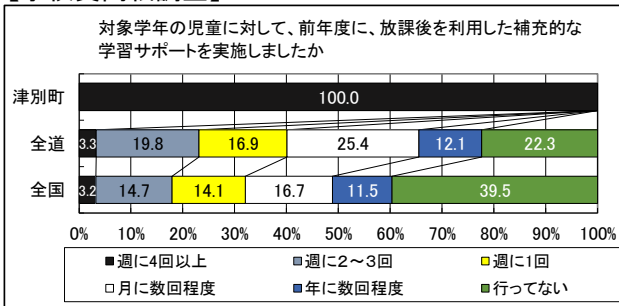
【学校質問紙】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」で、全道を上回っている。 ○ 算数Aでは、「図形」で、全道とほぼ同様である。 ○ 算数Bでは、「図形」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後を利用した補充的な学習サポートの実施や、保護者に対して児童の家庭学習を促す働きかけを行ったことにより、基礎的・基本的な学力の定着が図られたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」と回答した児童の割合が、全国及び全道とほぼ同様になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も学校全体の学力の傾向や課題について、全教職員で共有するとともに、児童に授業に対する意欲をもたせるための、問題や学習課題の提示の工夫を行う等の授業改善が必要である。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけをよく行った。 ○ 放課後を利用した補充的な学習サポートを週に4回以上行った。 	

【津別町の学力向上策】

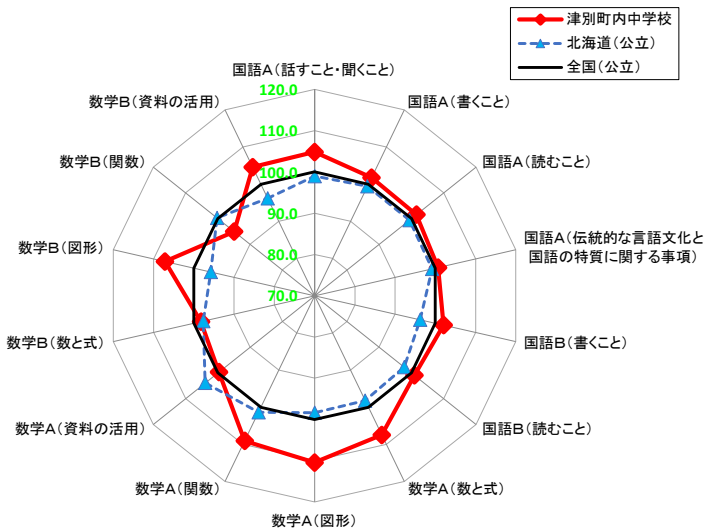
- ◎ 授業における教員の指導形態の工夫
- ◎ 支援員の配置
- ◎ 少人数指導や習熟度別指導の充実
- ◎ 校種間の交流を深め、連続性・一貫性のある教育の実現

津別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:28名)

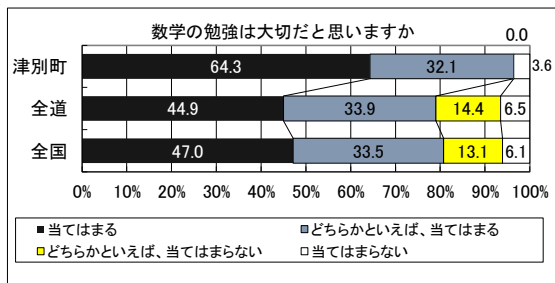
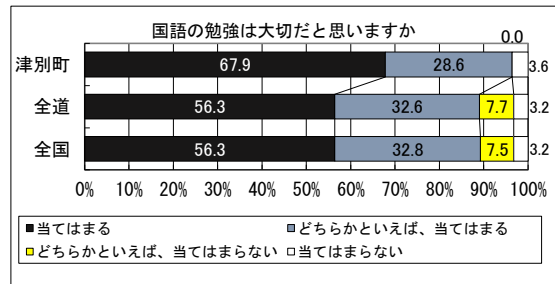
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

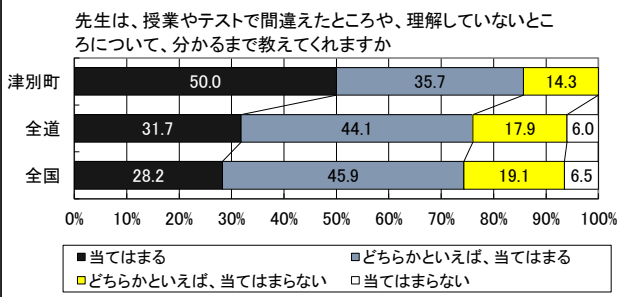
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



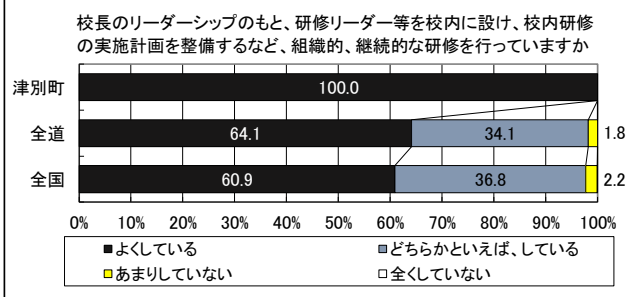
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、すべての領域において、全道及び全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「数と式」「図形」「関数」、Bでは、「図形」「資料の活用」で、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内研修の充実化が図られ、学校全体で授業改善等に取り組むとともに、学習の内容を理解していない生徒に対して、分かるまで指導を徹底することにより、基礎的・基本的な学力の定着が図られたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語、数学の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださいませんか」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の重要性について生徒が理解することで、学習に対して意欲的に取り組む姿勢が身に付いていると考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている。 	

【津別町の学力向上策】

- ◎ 授業における教員の指導形態の工夫
- ◎ 支援員の配置
- ◎ 少人数指導や習熟度別指導の充実
- ◎ 校種間の交流を深め、連続性・一貫性のある教育の実現